

ポルトガル月報

2020年4月

(本月報は報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

【主要ニュース】

【内政】★「非常事態宣言」延長／★レベロ・デ・ソウザ大統領、革命記念日の式典で演説

【経済】★フィッチ社、ポルトガル国債の格付け見通しを引き下げ／★S&P社、ポルトガル国債の格付け見通しを引き下げ

内政

★「非常事態宣言」延長

4月2日、共和国議会において、「非常事態宣言」を4月17日まで延長する大統領令の審議が行われ、与党・社会党(PS)、社会民主党(PSD)、左翼連合(BE)、民衆党(CDS)及び人と動物と自然の党(PAN)の賛成多数で承認された。

4月16日、共和国議会において、「非常事態宣言」を5月2日まで再度延長する大統領令の審議が行われ、与党・社会党(PS)、社会民主党(PSD)、左翼連合(BE)、民衆党(CDS)及び人と動物と自然の党(PAN)の賛成多数で承認された。

4月30日、政府は、5月3日より「非常事態宣言」を市民保護法に基づく「災害事態宣言」に切り替える旨閣議決定し、同日記者会見において、コスタ首相は、15日毎の段階的な制限措置解除計画を発表した。

●インテルカンパス社の世論調査結果—4月

4月20日、ジョルナル・デ・ネゴシオス紙は、インテルカンパス社が実施した世論調査結果を発表した。新型コロナウイルス感染症への対応が続く中、与党・社会党(PS)の支持率は35.4%(前月比4ポイント増)に上昇した。政府に協力的な姿勢を示している最大野党・社会民主党(PSD)の支持率も23.3%(同1.4ポイント増)に上昇したものの、PSとPSDの支持率の差は12ポイント(前回から2.6ポイント増)に拡大した。その他主要政党の支持率は下落した。

同社による最近の政党別支持率は以下のとおり。

政党	11月	12月	1月	2月	3月	4月
PS	34.9	33.9	32.8	31.1	31.4	35.4
PSD	24.9	25.7	25.8	23.8	21.9	23.3
BE	10.8	10.7	11.9	13.2	14.5	11.9
CH	4.8	5.7	6.2	6.9	8.6	7.8
CDU	8.1	6.3	6.2	6.3	6.1	5.8
PAN	4.8	6.1	6.0	5.4	5.9	4.9
CDS	2.9	3.9	1.9	3.5	3.6	3.9
IL	2.9	2.4	2.3	2.9	2.3	2.4
Livre	2.7	1.1	1.7	0.8	0.2	0.7

■調査期間：4月9～14日、対象者：ポルトガル本土居住の18歳以上の有権者623人、調査方式：固定及び携帯電話番号を無作為に抽出、回答率：69%、統計上の誤差：3.9%

■PS=社会党、PSD=社会民主党、BE=左翼連合、CH=シェーガ党、CDU=統一民主連合(ポルトガル共産党(PCP)・緑の党(PEV))、PAN=人と動物と自然の党、CDS=民衆党、IL=リベラル主導党、Livre=自由党

★レベロ・デ・ソウザ大統領、革命記念日の式典で演説

4月25日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、共和国議会において、1974年4月25日のカーネーション革命の46周年記念式典で演説した。社会的距離の維持が不可能な為、同式典を開催すると反対意見が出されたことを受け、レベロ・デ・ソウザ大統領は、同開催意義に

ついて、「痛み、苦しみ、嘆き、別離、封じ込めの異例の時期であるからこそ、祖国、独立、共和国、自由及び民主主義を呼び起こすことが最も重要なことである」と述べた。

外交

●コスタ首相が欧州理事会のテレビ会議に参加

4月23日、コスタ首相は、欧州理事会メンバーによるテレビ会議に参加した。同会議では、国境開放の共同措置、ワクチン開発支援、ユーログループによるセーフティーネットパッケージの実施及び欧州委員会による復興基金の設立を含む新たなEU多年度財政枠組み提案に関する意見交換が行われた。

経済

●短期国債の入札

4月15日、ポルトガル国庫公債管理庁（IGCP）は、3か月物短期国債を4億1,000万ユーロ（平均利回りは-0.009%）及び1年物短期国債を8億4,000万ユーロ（平均利回り0.038%）発行した。落札額は、3か月短期国債が10億3,800万ユーロ（応札倍率2.53倍）、1年短期国債が11億5,500万ユーロ（応札倍率1.38倍）となった。

★フィッチ社、ポルトガル国債の格付け見通しを引き下げ

4月20日、格付会社フィッチ社は、ポルトガル長期国債の信用格付を前回と同様の投資適格水準の「BBB」を維持したものの、格付見通しは「ポジティブ」から「安定的」に引き下げた。新型コロナウイルス感染症の影響に伴うポルトガル経済及び財政基盤の悪化を理由に挙げた。

★S&P社、ポルトガル国債の格付け見通しを引き下げ

4月24日、格付会社S&P社は、ポルトガル国債の信用格付見通しを「ポジティブ」から「安定的」に引き下げた。信用格付けは、前回（3月）と同様の投資適格水準の「BBB」を維持した。同社は、ポルトガル保健当局の新型コロナウイルス感染拡大防止措置を評価しつつ、ポルトガル経済が小規模開放的であることから、本年予

測されている世界景気後退はポルトガル経済を圧迫するという見解を示した。

●長期国債の入札

4月22日、ポルトガル国庫公債管理庁（IGCP）は、6年物長期国債を4億1,800万ユーロ（利回りは0.843%）及び10年物長期国債を5億9,800万ユーロ（利回り1.194%）発行した。落札額は、6年物長期国債が9億7,900万ユーロ（応札倍率2.34倍）、10年物長期国債が10億700万ユーロ（応札倍率1.68倍）となった。

（了）